

全国各地の連合メーデーに各地方協議会が参加！

各地方協議会は中央メーデーをはじめ、各地域のメーデー(フェスティバル)に参加しました。今年は「支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ 暮らしの底上げを実現しよう！」をスローガンに、働く人の祭典を盛り上げました。今回は、各地域で開催した模様をご紹介します。

※連合熊本・各地協メーデーは地震災害、余震などを考慮し中止となりました。

メーデー中央大会(本部・関東南部地方協議会)

第 87 回メーデー中央大会が 4 月 29 日(金・祝)、新緑張る代々木公園にて開催されました。当日は、10 構成組織、150 人の参加となり、「労働の日」を皆で祝いました。今年のメーデー宣言は「暮らしの底上げ実現に向けた特別決議」を確認しました。

また恒例となっている関東南部地協青年幹事会による「模擬店」を精力的に出店しました。本年は「みそダレホルモン焼そば」を中心に販売し、その売上の全額は、連合「熊本県を中心とする九州地震災害」に対する「特別救援カンパ」とすることになっております。



三多摩メーデー(関東南部地方協議会)

2016 連合三多摩メーデーが 4 月 29 日(金・祝)立川市民運動場で開催されました。前日の大雨から一転、朝から晴天に恵まれたのですが、強風に見舞われながらの準備に四苦八苦している姿が随所で見受けられました。

第一部の式典においては、2 週間前に発生した九州地方の災害復興支援と、「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現を推進していく力強い決意がなされました。第二部のイベントステージでは手品師による“マジックショー”がありました。舞台まで近寄らないとよく見えない状況でしたが、後に各構成組織を歩き回り、目前でトランプマジックを披露していただいたので、驚きの歓声が挙がっていました。

印刷労連として毎年模擬店を出店しており、今年も青年委員を中心とした若手組合役員が集まって恒例の牛ステーキの販売を行いました。今年は店長が代わり、不安要素もありましたが、終わってみれば大好評のうちにステーキ肉 200 枚を完売しました。

フォームズユニオン滝山支部、福生支部を中心に編成された実行委員会による万全の事前準備が功を奏し、何事も無く無事に三多摩メーデーを終えることができました。



相模原地域メーデー(関東南部地方協議会)

4 月 29 日(金・祝)小山公園において「相模原地域メーデー」が開催され、全体では 2,000 人が集まり、印刷労連からは 4 名が参加しました。今年の「相模原地域メーデー」はメインスローガンを「心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう！」とし、熊本地震の支援とともに、東日本大震災を風化させず、安心・安全・支えあいの社会をつくることを共通の認識としました。そして「共生」をキーワードとして、雇用の安定やすべての人のディーセント・ワークの実現など、「働くこと、働く人」をテーマに式典が催されました。式典最後に、スローガンとメーデー宣言が採択され、式典後は家族向けのヒーローショーや抽選会なども開催され、天候にも恵まれ、大変盛り上がりしました。



埼玉中央メーデー(関東北部地方協議会)

4月29日(金・祝)さいたま市鐘塚公園にて第87回埼玉中央メーデーが開催されました。「支え合い 助け合う心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」をスローガンに印刷労連関東北部地協から118名、各産別労組を含めるとおよそ5,000名が参加しました。式典では古賀副中央書記長が連合埼玉女性委員会として総合司会を担当しました。



当日はアトラクションとして福島、宮城で活躍するチアダンスチーム「クラップス」のパフォーマンス、ちびっ子に大人気「動物戦隊ジュウオウジャー」ショー、さらには東北地方の地産品などが当たるお楽しみ抽選会も開催され楽しく過ごすこともできました。なんとお楽しみ抽選会では、共同印刷労組の中島さんが盛岡冷麺&福島みそをゲットしました。

長野県メーデー・長野県中央メーデー(長野地方協議会)

第87回長野県メーデーは4月29日(金・祝)の飯伊会場(飯田市)を皮切りに13会場で開催され、15,000人が参加した(10会場でデモ行進を実施)。



長野県中央メーデーは、5月1日(日)長野市城山公園「ふれあい広場」において開催され、在長5組織90余人が参加した。「働く者の連帯で「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を実現し、自由で平和な世界をつくろう」をメインスローガンに、「東日本大震災と県内被災地を忘れない! 息の長い復興支援!」とする特別スローガンを満場の拍手で確認した。本年新たな取り組みとして、生活困窮者支援の「ひと缶の缶詰プロジェクト」活動を実施した。NPO法人フードバンク信州と協力して、家庭で余っている缶詰1缶の寄付を募り多くの参加者に協力していただいた。また会場では熊本地震の犠牲者に対して参加者全員で黙とうし、被災地への募金活動も行った。例年実施しているYES・NOアンケートでは「長野県最賃を知っていますか」「フードバンクを知っていますか」の2項目を新たな設問とし実施した。最賃の認知度は低く最賃額が反映されやすい女性の皆さんからは「分からない…」「知らない…」の声も聞かれた。

メーデー宣言では「賃金の底上げ」「非正規労働者の格差是正の要求」が採択され、大会閉会后デモ行進に出発した。

大阪地方メーデー(大阪地方協議会)

第87回大阪地方メーデーが5月1日(日)に、大阪城公園・太陽の広場にて40,000人の組合員とその家族の参加のもと開催されました。印刷労連からは、5つの構成組織の75名が参加いたしました。メーデー式典での主催者代表挨拶で、山崎弦一連合大阪会長より4月に発生した熊本県を中心とした九州での地震災害について触れ、連合本部が設置した「救援対策本部」と連携していくことを述べ、被災地救援カンパへの協力を求めました。また、東日本大震災発生から5年目となる今年の式典では、「東日本大震災の『いま』と『これから』、そして大阪の『備え』」を社会福祉法人大阪ボランティア協会の永井美佳事務局長が提案し、4月の九州の地震災害も踏まえ、被災地の復興、被災者支援の継続した取り組みの重要性を訴えました。



式典終盤には、第24回参議院選挙の必勝をめざした特別決議、メーデースローガン、メーデー宣言がそれぞれ提案され、参加者全員で採択し、最後は参加者全員での団結ガンバローで今年のメーデーを締めくくりました。

京都中央メーデー(京滋地方協議会)

第87回京都中央メーデーが4月29日(金・祝)に梅小路公園にて開催されました。当日は季節はずれの寒空の中、小雨もばらつく天気でしたが印刷労連からは2労組の組合員とその家族約50名が参加いたしました。



全体としては約14,000名の参加のもと、熊本地震による犠牲者へ黙祷を捧げるとともに、式典では今夏の参議院選での勝利への決意が述べられ、地域アピールを採択しガンバロー三唱で締めくくられました。その後は毎年恒例の大抽選会や参加型ゲームが行われ、復興支援名産品販売・フードコーナー等各イベントを楽しみました。

滋賀第4区メーデー(京滋地方協議会)

4月29日(金・祝)にて連合滋賀第4区メーデーが毎年恒例の竜王町ドラゴンハットにて開催されました。同日に県内4会場で開催となっております。

4区メーデーの参加は約2,000名の参加となり毎年沢山の方に参加頂いており印刷労連からはご家族含め20名程度の参加をいただいております。本年度においても東日本復興支援物産展、親子で物作りなど家族が楽しめるイベントを多数行いました。式典開催、最後には毎年恒例の大抽選会で盛り上がりました。

先に発生した熊本震災における義援金活動においては多くの方にご協力頂きました。式典終盤には、第24回参議院選挙の必勝をめざした特別決議、メーデースローガン、メーデー宣言がそれぞれ提案され、参加者全員で採択し、最後は参加者全員での団結ガンパローで今年のメーデーを締めくくりました。



愛知県中央メーデー&名古屋地協メーデーフェスティバル(愛知地方協議会)

【4月24日(日)名古屋市久屋大通公園・久屋広場にて開催/参加人数20名】

例年は愛知県中央メーデーと名古屋地協メーデーはそれぞれで開催していたが、本年は合同開催とした。従来は式典色の濃い催しだったが、合同化により出店やアトラクション、ショーなどが豪華に開催された。ご当地アイドルのLIVE&握手会も開催(笑)



メーデー金沢中央大会(石川地方協議会)

【5月1日(日)開催】第87回統一メーデー金沢中央大会は、金沢市のいしかわ四高記念公園で開催された。会場には5,000人が集い、連合石川西田会長、参院選で推薦する柴田氏、来賓の谷本知事などの挨拶のあと、労働者の格差是正と夏の参議院選勝利を目指し、特別決議とメーデー宣言を採択しガンパローを三唱した。なお、今年は日曜日開催のため家族連れも多いことを考慮し、6年ぶりにデモ行進を行わなかった。また会場では各構成組織による模擬店が設けられ、ステージでは太鼓などのアトラクションも披露し、各模擬店や街頭では東日本大震災と熊本地震の復興に向けたカンパも実施した。



福岡メーデー(福岡地方協議会)

「支えあい 助け合い 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!」このスローガンのもと、第87回福岡メーデーが4月29日(金・祝)福岡市のかしいかえんにて開催されました。約7,900名が参加され、印刷労連からは約50名が参加いたしました。

今回は、災害復興メッセージとして、岩手県釜石市出身で東日本大震災で被災され、今回の九州地震においてもボランティアとして参加されている長崎大学の狐鼻若菜さんに震災体験を語っていただき、改めて震災の恐ろしさを再認識するメーデーとなりました。また、義捐金の受付、チャリティ抽選会での募金なども実施され、集約された義捐金は連合九州地震カンパとして届ける予定です。



メーデー宮城県大会(宮城地方協議会)

4月29日(金・祝)に仙台市錦町公園で第87回メーデー宮城県大会が開催されました。多くの働く仲間や家族を含め、約2,200人が参加しました。印刷労連からは、凸版印刷労組、野崎印刷紙業労組、フォームズユニオンから合計15名が参加、式典・パレードに参加し労働者の祭典を共に祝いました。

式典では、労働法制の改悪を許さず格差を是正し全ての労働者の待遇改善を提起した宣言が採択されました。また、「熊本地震」被災地支援を行い、多くの方がカンパに協力しました。



全道メーデー(北海道地方協議会)

5月1日(日)に札幌大通公園8丁目広場にて第87回全道メーデーが開催されました。五月晴れの下、印刷労連からは13名が参加し、全体では約200団体、5,000名での開催となりました。冒頭、熊本地震で尊い命を失われた方々のご冥福を祈り黙祷からはじまり、今年のメーデーは『支え合い、助け合う、心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう』をメインスローガンに「働く人が報われる社会」「一人ひとりが主役の社会」をつくっていくことを確認しました。ステージ演奏やお楽しみ抽選会の後、最後は各方面に分かれてのパレード行進を行い、連合北海道の運動が訴えられました。



構成組織ご紹介！ 北から南から

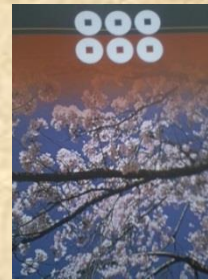


長野印刷労働組合 (執行委員長：中嶋 孝子)

組合員3名の長野印刷労働組合です。結成45年、最盛期には40名近くの組合員が在籍していたのですが会社の規模が小さくなり、また時代の流れの中で極小ナノ組合になってしまいました。でも、頑張っています。

会社は長野冬季オリンピックのスケート会場「Mウェーブ」の近く、東工業団地の中にあります。以前に登場した信教印刷さんから徒歩5分、お隣さんなのですが規模や施設は雲泥の差。どちらが雲ですか？って聞かないでください。

さて、善光寺・蕎麦・おやき・温泉と観光名所、名品はたくさんある中で今回は長野市を離れること車で1時間弱、上田市にスポットを当てました。そうあの上田市。エッ知らない？六文銭です、真田丸です、真田幸村です。いやはや大変な騒ぎで六文銭ののぼり旗に包装紙は六文銭、街中六文銭だらけで上田辺りでは空の雲まで六文銭になっているとかいらないとか。しなの鉄道は長野～軽井沢間で「ろくもん」という食事付特別列車を走らせていますが乗客が増えてルンルン。真田ブームですが別所温泉、北向観音、松茸山、無言館、信濃国分寺、生島足島神社等々、他にも名所旧跡は盛りだくさん。千曲川は島崎藤村の詩で有名。「小諸なる古城のほより…」！隣りの小諸市でした。上田駅に停車する新幹線もありますので歴史好き温泉好きの方は是非遊びに来てください。



大和印刷労働組合 (執行委員長：古田 誠)

はじめまして、石川地協の大和印刷労働組合です。従業員36名の組合員数は24名です。事業内容は、北陸にある百貨店の企業グループとして商業印刷を中心に、近年では、デジタルサイネージ、軟包装印刷事業も行っております。主な組合活動は、執行部、代議員が集まり、それぞれの職場の問題点、課題の共有と石川地協幹事会の報告を毎月行っています。また会社側とは労協協議、安全衛生委員会を定期的に行っています。今後の取組としている課題は、組合活動に対しての温度差を受け、少ない人数だからこそ、いかに全員が同じ方向に向いていけるかが課題となっております。それでは、いま大いに盛り上がっている金沢の紹介をしたいと思います。日経トレンディ2015年ヒット商品ベスト30の第1位にも選ばれた北陸新幹線金沢開業で我々の住む石川県には、多くの観光客が訪れ、日本三名園の一つ兼六園では入園者数が前年比4割増、また全国規模の学会やイベントが開催されホテルの満室が続いている状況です。この開業効果でいろんな分野が恩恵を受けており、我々の産業でも観光案内パンフ、お土産パッケージ印刷など需要が出ております。これらの盛り上がり継続していくためにも、情報発信産業として、もう一度金沢に来ていただけるリピーターをいかに増やしていくことがこれからの課題だと思っております。

最後に加賀百万石の城下町として栄えた金沢には兼六園、ひがし茶屋街、近江町市場、金沢21世紀美術館等の観光スポットが数多くあり、城下町の風情が今なお色濃く残る古き町並み金沢へぜひ遊びに来て下さい。



編集後記

「第1の8時間は仕事のため、第2の8時間は休息のため、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために。」
 当時の労働環境が過酷な中、労働条件の改善を目指し、果敢に立ち向かった労働者に対して、1986年にアメリカで発生した「ハイマキケット事件」は有名な事件になりました。
 5月1日から8時間労働制を求めるストライキとデモが発生。5月3日に警察側の弾圧の中、4名の労働者がその銃弾に倒れました。その翌日、更なる悲劇を生むことになりました。
 5月4日、シカゴ市内のハイマキケット広場で起こった争議行動を解散させるべく警察側との間で、爆発物を使用した衝突が発生。そこでも労働者と警察官が犠牲となりました。この事件をきっかけに国際的なメーデーが創設されました。
 現在は平和的解決を目的として「民主的労働運動」を展開していますが、当時の運動から読み取れることも大切であると改めて感じました。

連合印刷労連
労働相談ダイヤル
03-5442-0191



左記QRコードから、是非、印刷労連のHPもご覧ください。
 ID: pimw(半角英数)
 PASS: 1989(半角英数)